

【6年生】今週の漢字練習

4月20日（月）～4月24日（金）

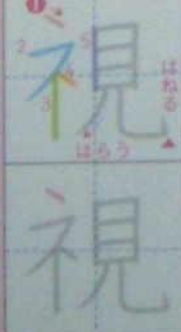
- 2ページ目にある「例」を参考に漢字ノートに練習します。
- ノートは金曜日にまとめて写真で撮り、「せんせいにわたす」に入れてください。
- もちろん、写真には「6 - 1 漢字 神宮前太郎」のように名前を付けて保存してください。

もの考え方、伝え方
帰り道
地域の施設を活用しよう

青い字は教科書で使われている意味

視

視線が合う。
発言を重視する。



視界 視点 視力
注視

指し示(ネ)す
ように見つめ
る視線。

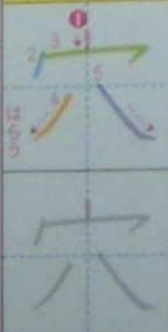


視 視 視 視 視 視 視 視 視 視 視 視

11画 視

穴

穴をほる。
ほら穴をのぞく。



岩穴 節穴 横穴
穴場

穴があくほど
見つめる。

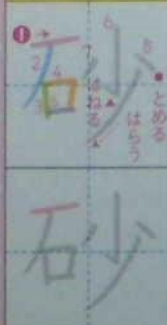


穴 穴 穴 穴 穴

5画 穴

砂

砂場で遊ぶ。
砂ばくを横断する。



砂時計 砂金 砂鉄

石が少なく砂
ばかり。

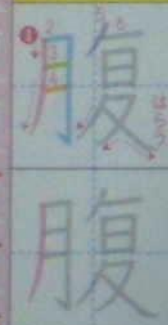


砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂

9画 砂

腹

腹がいたむ。
山の中腹で休む。



腹部 空腹 山腹
満腹

山の中腹で、
腹がへる。

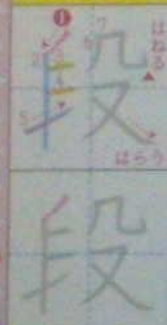


腹 腹 腹 腹 腹 腹 腹 腹 腹 腹

13画 腹

段

石段を上る。
文章の段落。



手段 段階 段差

長い階段を一気
にかけ上がると
切れるものは?



段 段 段 段 段 段 段 段 段 段

9画 段

1の数字のどこにはまらえやすいので、特に注意して書きましよう

◆は、まだ習っていない漢字 ◇は、まだ習っていない読み方

もの考え方、伝え方 帰り道 地域の施設を活用しよう

並

訓 ならみ べる

① 一列に並べる。
② 並の品。

並 並 並 並 並 並 並 並 並 並

並製 並木道

並 二人が立ち並んでいる様子を表す。



8画 並

降

訓 おりる

① 雨が降る。降水量
② バスを降りる。

降 降 降 降 降 降 降 降 降 降

乗降口 降雨 以降

降 バスの乗降口から降りたら、雪が降りだした。



10画 降

認

訓 みとめる

① 努力を認める。
② 外出を認める。

認 認 認 認 認 認 認 認 認 認

認め印

認 「認める」は見留める、つまり、目に留める意味。



14画 認

洗

訓 あらう

① 手を洗う。
② 洋服を洗たくする。

洗 洗 洗 洗 洗 洗 洗 洗 洗 洗

洗面所 洗顔 洗練

洗 水(し)で先に洗って食べる。



9画 洗

異

訓 こと

① 異常な暑さ。
② 意見が異なる。

異 異 異 異 異 異 異 異 異 異

異変 異議 異性 異物

異 両手で仮面をかぶった人の形からきた。



11画 異

もの考え方、伝え方
 帰り道
 地域の施設を活用しよう

純 音 ジュン

純真な子ども。
 清純な心。

意味 ①純粋な心、②純粋な色、③純粋な人
 単純 純情
 不純物

使い方
 純白のドレスを着た、純真な子。



射 音 シヤ

光の反射。
 的を射る。

意味 ①矢をいれる、②勢いよく進む、③当てる
 発射 射的
 注射 放射

成り立ち
 弓で矢をいる形からきた。



背 音 ハイ

荷物を負う。
 絵の背景。背比べ

意味 ①せなか、後ろ、②身長
 背後 背面
 背中 上背

成り立ち
 人が背中を向け合う形に月(肉)を加えた。



乱 音 ラン

頭が混乱する。
 列が乱れる。

意味 ①まどまりがなくびる
 乱暴 乱雑
 散乱 乱筆

成り立ち
 千の口には千の舌。



舌 音 シタ

舌をまく。
 舌を出す。

意味 ①した、へろ
 舌先 ねこ舌

成り立ち
 千の口には千の舌。



乱 音 ラン

頭が混乱する。
 列が乱れる。

意味 ①まどまりがなくびる
 乱暴 乱雑
 散乱 乱筆

成り立ち
 千の口には千の舌。



夏	読み方
初夏	使い方
暑い夏	読みかた

読み方が新しい漢字

35

音 ホウ

訪

たずねる

訪問客をもてなす。
母校を訪ねる。

再訪、探訪、歴訪、来訪

遊びにおいてと
言った方を訪ね
る(訪問する)。

11画 訪

35

音 テン

展

展示、展望

作品の展示。
展望台に行く。

個展、展開、発展、進展

×展 ○展

10画 展

34

音 ソウ

蔵

米を貯蔵する。
土蔵の中。

地蔵所蔵、冷蔵庫

土蔵にしまつた
秘蔵のつぼ。

15画 蔵

34

音 イキ

域

川の流域。
地域の祭り。

区域、海域、領域、音域

印を立てて土
地を区切るこ
とを表す。

11画 域

8

新しい字
新漢

もの考え方、伝え方
帰り道
地域の施設を活用しよう

新しい字は教科書で使われている意味



ものの考え方、伝え方
帰り道
地域の施設を活用しよう

は、「読み」のまちがいが多い漢字です。

11~35

①	点
②	点

一期10点

(光6・上)

ドリル ①

- ① 主人公の視点。
- ② 穴をほる。
- ③ 砂ぼこりがまう。
- ④ 腹がへる。
- ⑤ 駅の階段。
- ⑥ 品物を並べる。
- ⑦ にわか雨が降る。
- ⑧ 初夏の公園。
- ⑨ まちがいを認める。
- ⑩ 手を洗う。

ドリル ②

- ⑪ 異物を取りのぞく。
- ⑫ 単純な作業。
- ⑬ 光が反射する。
- ⑭ 背中を反らす。
- ⑮ 犬が舌を出す。
- ⑯ ボールを乱打する。
- ⑰ 地域の取り組み。
- ⑱ 本を所蔵する。
- ⑲ 博物館に展示する。
- ⑳ 会社を訪問する。

○新しい漢字
●読み方が新しい漢字

送り仮名

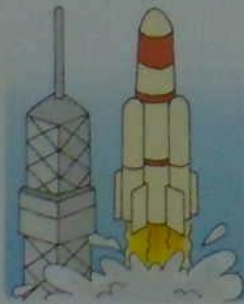
⑥ 「並べる」



使い分け

⑬ 「射」

ロケットの発射。



母に感謝する。



言葉を覚えよう

四字熟語

異口同音
多くの人が口をそろえて同じことを言うこと。



ものの考え方、伝え方
 帰り道

ちいぎの施設を活用しよう

は、「書き」のまちがいが多い漢字です。

11~35

①

てん

②

てん

一もん10てん

【光6・上】

ドリル①

- ① しゅじんこうの**してん**。
- ② あなをほる。
- ③ すなほこりがまう。
- ④ はらがへる。
- ⑤ えきのかいだん。
- ⑥ しなものを**ならべる**。
- ⑦ にわかあめが**ふる**。
- ⑧ しょかのこうえん。
- ⑨ まちがいを**みとめる**。
- ⑩ てを**あらう**。

ドリル②

- ⑪ いぶつを**とりのぞく**。
- ⑫ たんじゅん**なさぎ**よう。
- ⑬ ひかりが**はんしゃ**する。
- ⑭ **せなか**をそらす。
- ⑮ いぬが**したをだす**。
- ⑯ ボールを**らんだ**する。
- ⑰ **ちいき**の**とりくみ**。
- ⑱ **ほん**を**しよぞう**する。
- ⑲ はくぶつかんに**てんじ**する。
- ⑳ **かいしゃ**を**ほうもん**する。



~~~~~の言葉は、送り仮名も書きましょう。

———の言葉も書きましょう。